

日本鑄造工学会講演大会の講演概要見本及び原稿の書き方

鑄造大学(院) ●青銅秀樹 鑄造大学 鑄物一郎, 鑄造鉄子 (株)鑄物工業 鑄物太郎
JFES(株) 工学鑄代 鑄造大学 軽合金夫

19mm

22mm

19mm

82.5mm

7mm

82.5mm

1. はじめに

日本鑄造工学会の編集委員会で定めた講演大会の原稿フォーマットを示す。

原稿はワープロソフト(Word)により、1講演につき原稿用紙1枚に記述する。題名、所属、氏名を原稿用紙の所定の位置に記入し、講演者氏名の前に○印(講演時、学生の場合●)を付ける。

題名は内容を具体的に表現し、副題は設けない。「～の研究、第○報」のような連続報告の形式にせず、「～に関する研究」、「～について」等の表現は省略する。題名、氏名は日本語で記入し、講演申込みと必ず一致させる。

2. 原稿作成概要

ホームページ(<https://jfs.or.jp>)内、大会サイトからテンプレートをダウンロードして作成する(A4縦置き、横書き、本文は2段組)。

3. 原稿作成要領

3.1 タイトル

左右中央に16ptで題名を書く。2行にわたる場合は14ptの文字を使用し、行間をつめる。タイトルに商品名等は用いない。

3.2 著者名

所属、氏名は大きさ10ptで、右づめで書く。人数が複数で同一所属の場合には氏名のみを列挙する。また、人数が多い場合には2行にする(この用紙の例を参考に)。講演者(質問回答代表者)の前に○印(学生講演者は●印)を付ける。

4. 本文

4.1 本文の書き方

本文は明朝体10ptを用いる。書き出しは6行目とする(氏名欄が2行の場合は7行目から書き出す)。句読点は、全角のカンマ(、)ピリオド(.)を使用する。半角カタカナは用いない。

目的、実験方法、実験結果、考察、結果等の見出しはゴシック体を使用し、「1. 2. …」のように記載する。小見出しは「1.1 1.2…」とし、本文と同書体とする。

アンダーラインは使用しない。

本文は簡明な文章を用いて記述する。

参考文献は3件以内とし、本文の最後に本文と同書体9ptでまとめて記載する。文献番号は片括弧(1)を使用する。謝辞は省略する。

4.2 図表及び写真

図・表及び写真は原稿に取り込む。図をWord上で編集すると位置ずれなどを起こしやすいので、文字や矢印等も含めて画像化(jpg, pngなど)して貼り付ける。掲載はモノクロなのでコントラストに注意する。

図・表に付記する文字は9ptを使用する。キャプションは本文と同フォント、9ptで、図1 ○○…/表1 ○○…と番号を付けて日本語で記述し、行内の左右中央に配置する。図表の画像データとは別にテキストとして貼りつける。

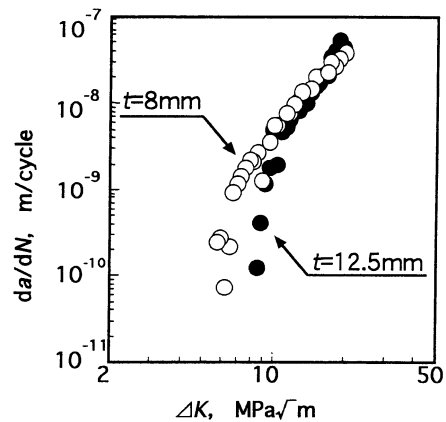


図1 ADIの亀裂進展特性

5. その他の注意事項

(1)原稿は、間違いのないよう著者において十分見直しをすること。上記の要領に合わない場合は、修正を求める場合がある。

(2)原稿中で使用する単位はSI単位とし、その他一般的な事項は、本会の「論文執筆要領」(ホームページに掲載あり)に基づいて記述する。なお、講演概要の別刷りは受け付けない。

6. 原稿送付先

Email:jfs-henshu@jfs.or.jp

受付はメールのみ。メールが使えない環境の場合は事務局に相談する。

ファイル名は「188-○○○」(○○○は受付番号)とする。

PDFファイルでは送らない。文字化けやレイアウトのずれ等の心配がある場合は、Wordファイルと一緒に添付する。メールで送れないファイルサイズ(20MBを超えるなど)の場合は事務局に連絡する。

32mm